

令和3年度

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	神楽尾公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北764番地5 名称 株式会社ガット 代表者 代表取締役 美甘信吉
(3) 公の施設の所管部署	津山市 都市建設部 都市計画課 公園緑地係
(4) 指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	公園入園者数 50,796 人 (前年度 26,792 人) ゴーカート利用者数人回 7,699 回 (前年度 4,077 回) 管理棟研修室利用者 1 回 述べ 20 人 (前年度 4 回) 野外調理施設利用者数 0 人 (前年度 0 人)
(2) 事業の内容	4月・・・神楽尾公園さくらまつり 春の交通安全教室 (中止) 5月・・・端午の節句イベント、鯉のぼり展示 (中止) 11月・・・カートワングランプリ開催 (中止) 1月・・・新春祭 (中止) 2月・・・雛人形展示 3月・・・交通安全教室 (中止)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	9,282 千円	(前年度 9,328 千円)
	利用料金収入	1,052 千円	
	指定管理料	8,046 千円	
	自主事業収入	0 円	
	その他の収入	184 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	9,377 千円	(前年度 8,432 千円)
	主な支出		
	人件費	6,013 千円	
	事務費	1,233 千円	
	管理費	1,946 千円	
	自主事業	186 千円	

4 総合評価結果

<p>(1) アンケート調査等の概要</p>	<p>利用者アンケート調査について、令和3年10月24日～11月6日の期間で、アンケート調査を実施した。24件の回答。アンケート回答者は年代別に30代が最も多く全体の41.3%を、次いで40代が33.3%を占めた。地域別の利用割合は津山市内が約41.7%、県北（津山以外）が12.5%、県南が約41.7%、岡山県外が約4.2%という回答となった。団体別の割合では家族での利用が100%を占めた。公園の印象についてのアンケートでは、安全面、職員の対応には多くの方から良いと評価の回答。次回の公園利用については100%の方が「次回も利用したい」という結果となった。</p> <p>要望や感想は、以下のような回答になった。</p> <ul style="list-style-type: none">・津山に帰る度、楽しみにしています。・コースが長いゴーカートはあまり無いので、昔は子供たちを連れ、今は孫を連れてきています。長く続けて行ってほしいです。・地元が津山なので、帰る度に子供と一緒に来ています。これからも遊びにきます。・いつもきれいにされていて、いつも気持ちよく利用させてもらっています。自動販売機で出たゴミだけでも捨てられるゴミ箱があれば助かります。ゴーカートいつも楽しませてもらっています。・ゴーカートが長くて安く子供がとても喜びました。・ゴーカートはじめて乗りました。大人も子供も楽しめました。ありがとうございました。・自分の子供を連れてきた時からここがあり、今度は孫を連れて来られたことをとっても嬉しく思います。桜の時も来させて頂いています。いつまでもこの場があればいいと思います。・ゴーカートを安く楽しめるのでよいです。子供も満足できたみたいです。・トイレがキレイになると利用しやすい。(30代、男性、7・4・2歳)
------------------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>入園者数は新入園者数計算方式を用い、50,796人となり前年と比べ24,004人増となった。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の臨時休園やゴーカートと研修室の休止があったが、信号機を修理したことによりエンジン式ゴーカートを再開したことが増加の要因となった。</p> <p>ゴーカートの売り上げは、令和3年度は1,052,330円、前年と比べ464,230円増。快適な公園を目指し、剪定、草刈、除草、整備に取り組んだ。年度事業計画に対しては、公園管理は、計画通りに実施する事ができた。臨時休園中は駐車場の側溝の掃除、整備やゴーカートコース周辺の雑木や竹の伐採、ゴーカートの部品交換や整備を実施して公園の美化と安全に努めた。</p> <p>ホームページやTwitterによる情報発信を増やし広告宣伝費を抑えた。また、県内のタウン情報誌（JAKEN、タウン情報岡おかやま）等に無料掲載してもらい公園のアピールを行った結果、市内のみでなく県南からの来園が増えました。</p> <p>収支結果について、 令和2年度に比べゴーカート利用費は増加したが、新型コロナウイルス感染症対策継続・再開事業助成金の交付があった令和2年度と比べて令和3年度は赤字となった。今後は、現在の収支を如何に維持・増加させていくことで、黒字への転換を目指していきたい。令和4年度も継続した収益向上を目標に尽力します。</p> <p>事業計画のイベントは新型コロナウイルスの影響を受け、集客のあるイベントは実施を自粛したが、他県への移動が制限される中、近場の行楽地として県南からの親子連れの来園が増えました。 3人乗りトレーラー式電動カーはエンジン式ゴーカートに乗れない年齢層の方に人気があり、無料の三輪車等の乗り物も根強い人気がある。日々のメンテナンスにより、ゴーカート運営日は提供している乗り物が常に利用できる状態にしている。そのことは、来園者へのサービス向上につながっている。</p> <p>今後も安心、安全を最重点に利用者の方に喜ばれる施設づくりに尽力します。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>新型コロナウイルスの影響により、集客イベントは自粛となったが、来園者は前年と比べ、約2,400人増となっており、その中でも共有スペースや利用者のよく触れる箇所の除菌等、感染対策に努めていて、利用者アンケートでも子供と気軽に来れる公園との感想を得ている。</p> <p>施設管理の面でも、機械類の点検整備、維持修繕に努められ、来園者への安心安全なサービス向上に繋がっている。</p> <p>今後は自主事業のイベントについても、感染対策を行ったうえで開催し、更なる来園者の増加に向けてご尽力いただきたい。</p>